

令和5年度生坂村社会就労センター運営委員会要旨

1. 日 時 令和6年1月19日（金）午後3時から
2. 場 所 村民会館講堂
3. 出席者 委 員：島 幸恵、望月典子、字引文威、腰原久男、山本かづ子
平野和子、山口利夫
村 長：藤澤泰彦 副村長：牛越宏通
説明者：山崎 慈（所長）、眞島弘光（住民課長）

4. 会長互選 腰原久男委員を会長に選出

5. 協議事項

（1）令和5年度社会就労センター運営状況について

令和5年度の運営状況（利用者、受託作業等）について資料により説明

問：草尾柿組合は柿が不作で収穫するところと、柿組合の仕事の内容は。

答：小学校横、なやまなみ荘付近、雲根、草尾上野の圃場で収穫。作業内容は、皮むき、吊るすのが主な作業。

（2）今後の運営について

利用者増や運営方針等について説明

問：来年度の商社との取引での課題として、高齢化、人員確保、仕事量は。

答：電熱産業関係は現在忙しく行っている。あづみ野食品は、年度初めに仕事量を調整するが、新しい仕事をもらえるなど、利用者が入れば仕事を増やせる。ここ数年一般会計からの補填は750万円程で推移して、認定者が増えれば村からの持ち出しも減っていくが、何かしらの手立てをするべき。社会福祉施設であり、認定者を増やすためのデータを持ち合わせていないため、民生委員から紹介してほしい。一般会計からの繰り出しを抑えていくことを考え、来年度からは指定管理で運営面を強化し、認定者を増やしていきたい。

問：所有している車4台の経費削減などを検討しているのか。

答：指定管理により維持管理費等を効率よく削減できるよう進める。

（3）その他

特になし